

令和5年度国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策事業 (令和4年度第Ⅱ期対策)

実施要領別紙様式 (Excel 様式) 作成のための手引書 (取組主体向け)

本資料は、令和5年度国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策事業 (令和4年度第Ⅱ期対策) の各種申請書 (Excel 様式) の記入方法を示した資料です。

本資料を参考に様式に必要な事項を記入の上、原本郵送前に必ず Excel 様式を中央酪農会議の担当者にメールで送信いただき、事前確認をお願いいたします。

入力内容に問題がないことが確認でき次第、担当者から交付申請書の提出 (原本郵送またはPDFの送付) をお願いさせていただきますので、必ず事前確認後の提出をお願いいたします。

目 次

	内 容 (様 式)	ページ
I	補助金交付申請書及び概算払請求書 (別紙様式第1号)	2～6
II	補助金交付変更承認申請書及び概算払請求書 (別紙様式第2号)	7～9
III	補助金概算払請求書 (別紙様式第3号)	10
IV	実績報告書 (別紙様式第4号)	11～14
V	実施状況報告書 (別紙様式第5号)	15～16

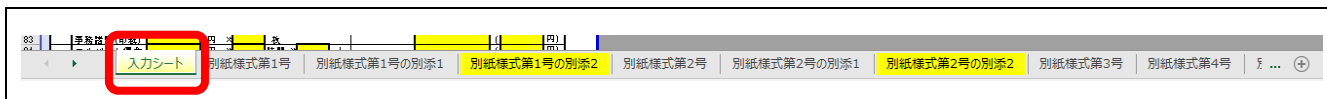
I. 補助金交付申請書及び概算払請求書（別紙様式第1号）

1. 「入力シート」への入力作業

(1) 「入力シート」の選択

Excelの様式下部にある「入力シート」を選択。

※今後の作業は「入力シート」上の作業が基本となります。



(2) 基本情報（団体概要、補填金の振込先情報）

① 取組主体名

団体名の正式名称

② 取組主体住所

県名市町村名番地（記入例：〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇）

③ 代表者肩書

組合（団体）長の肩書（記入例：代表理事組合長、会長等）

④ 代表者氏名

組合（団体）長の氏名

⑤ 金融機関名

振込先金融機関名（記入例：〇〇銀行）

⑥ 支店名

振込先支店名（記入例：〇〇支店）

⑦ 預金種類

普通預金 or 当座預金

⑧ 口座番号

振込先口座番号（7桁）を半角記入

⑨ 口座名義

振込先口座名義

⑩ フリガナ

振込先口座名義（フリガナ）を半角記入

上記は非常に間違いが多く確認されますので、必ず記入内容の確認をお願いいたします。
円滑な補填金交付のため、ご協力の程よろしくをお願いいたします。

基本情報		
取組主体名		振込先
団体名正式名称 ①		金融機関名 ⑤
取組主体住所 ②		〇〇銀行 ⑤
〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇		口座番号（7桁） ⑧
代表者肩書 ③		〇〇店 ⑥
代表理事組合長 ③		口座名義 ⑨
代表者氏名 ④		〇〇店 ⑥
〇〇 〇〇 ④		預金種類 ⑦
		〇〇店 ⑥
		口座名義フリガナ ⑩
		〇〇店 ⑥

(3) 別紙様式第1号：補助金交付申請書及び概算払請求書

① 発信（決裁）番号

貴組合（団体）の文書発信時の番号を記入（番号がない場合空欄に修正）

② 発信（決裁）日

年月日を記入

③ 申請する費目

“○”を記入（ドロップダウンリストから選択）

④ 積算内訳

単価（円）×該当単位に数量を記入

⑤ 概算払請求額

概算払請求額を記入

（補助金額を上限として申請時点で遂行済の金額に限る）

③～⑤は、事務費を申請しない場合、空欄で結構です。

別紙様式第1号：補助金交付申請書及び概算払請求書

発信番号
 ○○発第○○号 ①

発信日
 令和 5 年 月 日 ②

事業着手年月日 事業完了予定年月日
 令和 5 年 4 月 1 日 令和 6 年 3 月 31 日

酪農生産改善計画の審査等に要する経費（申請する費目に○、積算内訳に該当する積算基礎の記入をお願いいたします。）

○	費目	積算内訳	事業費(円)	補助金(円)	概算払請求額
	旅費 (税込)	円 × 人 × 回			
	会場借料 (税込)	円 × 地域			
	印刷製本費 (税込)	円 × 部			
③	通信運搬費 (税込)	円 × ④ 件			⑤
	振込手数料 (税込)	円 × 回			
	消耗品費 (税込)	円 × カ月			
	事務諸費(印紙) (税抜)	円 × 枚			
	アルバイト賃金 (税抜)	円 × 時間 × 人			

OK OK OK OK OK OK OK

2. 「別紙様式第1号の別添2」シートへの入力作業

(1) 「別紙様式第1号の別添2」の選択

Excelの様式下部にある「別紙様式第1号の別添2」シートを選択。



(4) 不要行の削除

余った行は削除をお願いいたします。(逆に行が足りない場合は、行の追加※をお願いいたします。)

酪農経営体名 (法人の場合は法人名を記入)	R4.11.1 時点の 経産牛 頭数 ①	控除 頭数 ②	対象 頭数 ③ (①-②)	補填金 単価 ④	交付 金額 ⑤ (③×④)	既 概算払 請求額	今回 概算払 請求額
酪農 太郎	50	0	50	10,000	500,000	0	500,000
中酪 次郎	70	1	69	10,000	690,000	0	690,000
記入の無い枠(行)は削除							
合計	120	1	119		1,190,000	0	1,190,000

※ 行の追加について

行を追加した場合、追加行には対象頭数等を計算する関数が入力されていないため、以下のいずれの手順で操作をお願いいたします。

① 行の挿入後、別行から関数をコピー、貼り付けする

下図の赤枠内には関数があらかじめ入力されていますので、追加した行に赤枠内の関数をコピーして貼り付けてから入力作業をお願いいたします。

酪農経営体名 (法人の場合は法人名を記入)	R4.11.1 時点の 経産牛 頭数 ①	控除 頭数 ②	対象 頭数 ③ (①-②)	補填金 単価 ④	交付 金額 ⑤ (③×④)	既 概算払 請求額	今回 概算払 請求額

関数入力済のセル

② 別行をコピーし、コピーした行を挿入する

下図の赤枠行全体をコピーし、コピーした行ごと挿入いただいた後、入力作業をお願いいたします。

酪農経営体名 (法人の場合は法人名を記入)	R4.11.1 時点の 経産牛 頭数 ①	控除 頭数 ②	対象 頭数 ③ (①-②)	補填金 単価 ④	交付 金額 ⑤ (③×④)	既 概算払 請求額	今回 概算払 請求額

行全体をコピーし、行ごと挿入

3. 最後に

別紙様式第1号、別紙様式第1号の別添1、別紙様式第1号の別添2の各シートにおいて、記載内容に間違いがないかご確認いただくようお願いいたします。

また、各シートを印刷の上、決裁前に再度内容のご確認をお願いいたします。

II. 補助金交付変更承認申請書及び概算払請求書（別紙様式第2号）

本様式は交付変更承認申請をする場合のみ使用します。

第1号作成時の入力内容はそのまま消さず、続きから入力いただくようお願いいたします。

1. 「入力シート」への入力作業

(1) 「入力シート」の選択

Excelの様式下部にある「入力シート」を選択。



(2) 別紙様式第2号：補助金交付変更承認申請書及び概算払請求書

① 発信（決裁）番号

貴組合（団体）の文書発信時の番号を記入（番号がない場合空欄）

② 発信（決裁）日

年月日を記入

③ 中酪からの交付決定日付・番号

確定次第、別途ご連絡差し上げます。

④ 変更の理由

変更の理由を記入。（例：補填金追加分の申請のため、事務費の申請のため・・・etc.）

⑤ 申請する費目

“○”を記入（ドロップダウンリストから選択）（記入済の場合はそのまま）

⑥ 積算内訳

単価（円）×該当単位に数量を記入

⑦ 概算払請求額

概算払請求額を記入。

（補助金額を上限として申請時点で遂行済の金額に限る）

⑤～⑦は、事務費を申請しない場合、空欄で結構です。

別紙様式第2号：補助金交付変更承認申請書及び概算払請求書

発信番号 ①
 ○○発第○○号

発信日 ②
 令和 5 年 月 日

中酪からの交付決定日付・番号 ③
 令和〇年〇月〇日付け中酪(総務)発第〇号

変更の理由 ④

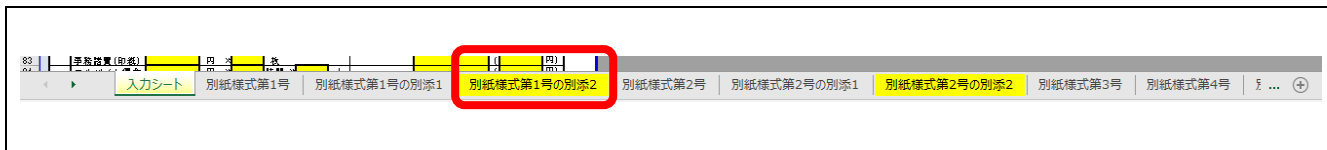
酪農生産改善計画の審査等に要する経費（申請する費目に○、積算内訳に該当する積算基礎を記入を願います。）

○	費目	積算内訳	事業費(円)	補助金(円)	概算払請求額
	旅費 (税込)	円 × 人 × 回			
	会場借料 (税込)	円 × 地域			
	印刷製本費 (税込)	円 × 部			
⑤	通信運搬費 (税込)	円 × ⑥ 件			⑦
	振込手数料 (税込)	円 × 回			
	消耗品費 (税込)	円 × カ月			
	事務諸費(印紙) (税抜)	円 × 枚			
	アルバイト賃金 (税抜)	円 × 時間 × 人			

2. 「別紙様式第2号の別添2」シートへの入力（経営体名、申請頭数）

(1) 「別紙様式第2号の別添2」の選択

Excel の様式下部にある「別紙様式第1号の別添2」シートを選択。



(2) 既に申請済の内容（下図青字部分）

① 申請済の申請内容

様式第1号別添2を参考に、酪農経営体名、頭数、控除頭数を記入（コピー・アンド・ペーストで構いません）。経営体名、頭数、控除頭数以外は、関数により自動で入力されますので記入不要です。（セルの内容を変更しないようお願いいたします。）

※ 必ず交付申請（第1号）時に申請した内容を全て記入願います。

(3) 追加申請分の内容（下図赤字部分）

② 酪農経営体名（酪農経営体名（または法人名））

③ 令和4年11月1日時点の頭数

④ 第I期対策で発生した過払いの頭数（0頭の場合は0を入力又は空欄）

以降は関数により自動で入力されますので記入不要です。（セルの内容を変更しないようお願いいたします。）

	R4.11.1 時点の 経産牛 頭数	控除 頭数	対象 頭数	補填金 単価	交付 金額	既 概算払 請求額	今回 概算払 請求額
酪農経営体名 (法人の場合は法人名を記入)	①	②	③ (①-②)	④	⑤ (③×④)		
① 既に申請済 (様式第1号)の 申請内容を記入 (コピー・ペースト)						記入不要	
【追加申請内容】						記入不要	
②	③	④					

(4) 「別紙様式第2号の別添2」シートへの入力（取組の選択）

① 既に申請済の内容（下図青字部分）

申請済の申請内容：様式第1号別添2を参考に記入（コピー・アンド・ペーストで構いません。）

※ 必ず交付申請（第1号）時に申請した内容を全て記入願います。

② 追加申請分の内容（下図赤字部分）

国産飼料の利用拡大及び生産コストを低減させるための取組について、表中の14の取組から3つ以上を選択。このうち、1つ以上は【●】から選択し、記入欄に“○”を記入。

※ 第Ⅱ期対策において、第Ⅰ期対策と取組内容に変更がない場合、⑮に“○”を記入（他の取組に“○”を記入しないようご注意ください。）

国産飼料の利用拡大及び生産コストを低減させるための取組 (本事業に着手する取組について、以下の取組から3つ以上を選択。このうち、1つ以上は【●】に取り組みむものとする。)														
① 飼料成分分析に基づく飼料設計の改善(飼料自給率の向上を考慮すること。)	② 国産飼料(エコフィードを含む)の給与割合の増加	③ 国産濃厚飼料の生産・流通拡大(コントラクター活用等によるものを含む。)	④ 国産高栄養価飼料(青刈りとうもろこし、アルファルファ等)の利用による配合飼料の使用量の低減	⑤ 疾病・事故率などの低減	⑥ 暑熱・寒冷対策による生産性の改善	⑦ 副産物収入(増肥除去、和牛受胎率の活用等)の増加による生産コストの削減	⑧ 牛群検定を活用した生産性の向上	⑨ 分娩間隔の短縮	⑩ エサロケットの活用	⑪ 自動給餌機の活用	⑫ 分娩ロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限定)	⑬ 分娩ロボットの活用	⑭ リキッドフィーディングの活用	⑮ 令和4年度第1期対策と同様の取組を継続
輸入乾燥草の一部を国産飼料に置き換え	輸入原料を左記以外の一部を国産原料に置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え	輸入とうもろこしの一部を国産とうもろこしに置き換え
①既に申請済の内容を記入(コピー・アンド・ペースト)														
こちらの選択肢から必ず1つ以上を選択 左の選択肢と合わせて3つ以上になるように選択 ※														

(5) 不要行の削除

余った行は、5ページ(4)を参考に、行の削除をお願いいたします。(逆に行が足りない場合は、行の追加(参考:6ページ)をお願いいたします。)

3. 最後に

別紙様式第2号、別紙様式第2号の別添1、別紙様式第2号の別添2の各シートにおいて、記載内容に間違いがないかご確認いただくようお願いいたします。

また、各シートを印刷の上、決裁前に再度内容のご確認をお願いいたします。

Ⅲ. 補助金概算払請求書（別紙様式第3号）

本様式は概算払請求をする場合のみ使用します。

既に入力済みの内容はそのまま消さず、続きから入力いただくようお願いいたします。

1. 「入力シート」への入力作業

(1) 「入力シート」の選択

Excel の様式下部にある「入力シート」を選択。



(2) 別紙様式第3号：補助金概算払請求書

① 発信（決裁）番号

貴組合（団体）の文書発信時の番号を記入（番号がない場合空欄）

② 発信（決裁）日

年月日を記入

③ 中酪からの交付決定日付・番号

最新の中酪から交付決定を受けた際の日付・番号を記入

④ 事業遂行状況

概算払請求書がいつまでの遂行状況で記載されているか日付を記入

⑤ 事業遂行状況（事業費・補助金）

④の日付までに遂行した事業費・補助金額を記入

⑥ 概算払請求額

⑤の金額のうち、概算払請求額を記入（枠外に記載される金額まで申請可能）

別紙様式第3号：補助金概算払請求書

発信番号
〇〇発第〇〇号 ①

発信日
令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 ②

中酪からの交付決定日付・番号
令和〇〇年〇月〇日付け中酪(総務)発第〇号 ③

事業遂行状況
令和〇〇年〇月〇日現在 ④

概算払請求額

	令和〇〇年〇月〇日現在の事業遂行状況		概算払請求額
	事業費	補助金	
1 補填金の交付	⑤		⑥ OK
2 計画の審査等			OK

以下の金額まで請求可能です。

1 補填金の交付	
2 計画の審査等	

2. 最後に

別紙様式第3号において、記載内容に間違いがないかご確認願います。

また、印刷の上、決裁前に再度内容のご確認をお願いいたします。

IV. 実績報告書（別紙様式第4号）

既に入力済みの内容はそのまま消さず、続きから入力いただくようお願いいたします。

1. 「入力シート」への入力作業

(1) 「入力シート」の選択

Excel の様式下部にある「入力シート」を選択。



(2) 別紙様式第4号：実績報告書

① 発信（決裁）番号

貴組合（団体）の文書発信時の番号を記入（番号がない場合空欄）

② 事業完了年月日

事業が完了した日を記入（例：全ての酪農経営体に補填金の振込を完了した日付等）

③ 発信（決裁）日

年月日を記入（②の日付または②の日付から1か月以内の日付をご記入ください。）

④ 中酪からの交付決定日付・番号

最新の中酪から交付決定を受けた際の日付・番号を記入

⑤ 積算内訳（実績）

単価（円）×該当単位に数量の実績を記入

⑥ 精算払請求額

精算払請求額を記入（枠外に記載される金額まで請求可能）

なお、⑤、⑥については、事務費の実績がない場合、空欄で結構です。

別紙様式第4号：実績報告書

発信番号 ①

発信日 令和 年 月 日 ③

中酪からの交付決定日付・番号 ④ 事業完了年月日 ② 令和 年 月 日

酪農生産改善計画の審査等に要した経費（申請した費目について、積算内訳に実際にかかった経費の内訳を記入願います。）

○	費目	積算内訳	事業費(円)	補助金(円)	精算払請求額
	旅費 (税込)	円 × <input type="text" value=""/> 人 × <input type="text" value=""/> 回			⑥
	会場借料 (税込)	円 × <input type="text" value=""/> 地域			
	印刷製本費 (税込)	円 × <input type="text" value=""/> 部			
	通信運搬費 (税込)	円 × <input type="text" value=""/> 件			
	振込手数料 (税込)	円 × <input type="text" value=""/> 回			
	消耗品費 (税込)	円 × <input type="text" value=""/> カ月			
	事務諸費(印紙) (税抜)	円 × <input type="text" value=""/> 枚			
	アルバイト賃金 (税抜)	円 × <input type="text" value=""/> 時間 × <input type="text" value=""/> 人			

以下の金額まで請求可能です。
請求総額

(3) 実績報告報告（取組の報告）

補助金交付申請書及び概算払請求（別紙様式第1号）、または、補助金交付変更承認申請書及び概算払請求書（別紙様式第2号）で申請した酪農経営体分の、国産飼料の利用拡大及び生産コストを低減させるための取組実績を記入。

（表中の14の取組から3つ以上、このうち、1つ以上は【●】から取り組み、記入欄に“○”を記入。）

※ 第I期対策の取組を継続する（している）場合、⑮に“○”を記入（他の取組に“○”を記入しないようご注意ください）。

※ 必ず、交付（変更承認）申請（第1、2号）で申請した酪農経営体分の取組実績を全て記入願います。

国産飼料の利用拡大及び生産コストを低減させるための取組 (本事業に着手する取組について、以下の取組から3つ以上を選択。このうち、1つ以上は【●】に取り組みものとする。)														
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
飼料成分分析に基づく飼料設計の改善(飼料自給率の向上を考慮すること。)	国産飼料(エコフィードを含む)の給与割合の増加	国産濃厚・粗飼料の生産・流通拡大(コントラクター活用等によるものを含む。)	国産高栄養要素飼料(青刈とうもろこし、アルファルファ等)の利用による配合飼料の使用量の低減	疾病・事故率などの低減	暑熱・寒冷対策による生産性の改善	副産物収入(堆肥販売、和牛受胎率の活用等)の増加による生産コストの削減	牛群検定を活用した生産性の向上	分娩間隔の短縮	エサませロボットの活用	自動給餌機の活用	⑫に挿入ロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのもの)	⑬に挿入ロボットの活用	⑭リキッドフィーディングの活用	令和4年度第1期対策と同様の取組を継続
輸入乾燥牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入とうもろこしの一部を国産(子実・イア コーン)に置き換え 輸入原料(左記以外)の一部を国産原料に置 き換え その他	国産とうもろこし(青刈り・子実・イアコー ン)の給与割合を増やす 国産牧草(乾草・サイレージ)の給与割合を 増やす その他	国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産粗飼料の作付面積を拡げる その他	その他国産原料(左記以外)の使用量を増や し、配合飼料を減らす 国産子実コーンの使用量を増やし、配合飼料の 使用量を減らす 飼料用アルファルファの使用量を増やし、配 合飼料の使用量を減らす 青刈りとうもろこしの使用量を増やし、配 合飼料の使用量を減らす その他	疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病・事故率低減のための獣医師の指導等 による定期的な分岐監視 疾病・事故率低減のための牛の閉群の実施 牛床マットやカウブラン、分娩監視装置等 畜管理機器・資材の使用 その他	暑熱・寒冷対策のために、外壁・屋根材に断 熱性(気密性)素材を使用 寒冷対策のために、牛舎(カーフヤケッ ト)等を使用 暑熱対策のために、牛床内における噴霧器、 換気ファン等の使用 その他	和牛精液・和牛受胎率の活用による収入の増 加により、生産割合を増加する 堆肥販売を増加させる その他	牛群検定を活用した生産性の向上	早期産乳の実施による、分娩間隔の短縮 暑情発覚機を活用した暑情の発見防止によ る分娩間隔の短縮 その他	エサませロボットの活用	自動給餌機の活用	⑫に挿入ロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのもの)	⑬に挿入ロボットの活用	⑭リキッドフィーディングの活用	令和4年度第1期対策と同様の取組を継続
様式第1又は2号で申請した酪農経営体分の取組実績を全て記入														

(4) 不要行の削除

余った行は、5ページ(4)を参考に、行の削除をお願いいたします。(逆に行が足りない場合は、行の追加(参考:6ページ)をお願いいたします。)

(5) 酪農生産改善計画の審査等に要する経費

酪農生産改善計画の審査等に要する経費を申請した場合、実績報告書（別紙様式第4号の別添）の(2)酪農生産改善計画の審査等に要する経費、積算基礎記入欄に、経費の積算内訳を直接テキスト入力いただくようお願いいたします。

(2) 酪農生産改善計画の審査等に要する経費						(単位：円)
事業内容	事業費	負担区分		今回精算払請求額	費目	積算基礎
		補助金	その他			
酪農生産改善計画に基づく取組状況報告の精査、とりまとめ等	記入不要					積算の内訳を(〇×〇)の形で、本シートにテキスト入力をお願いいたします。
合計						

【記入例】

事業内容	事業費	負担区分		今回精算払請求額	費目	積算基礎
		補助金	その他			
酪農生産改善計画に基づく取組状況報告の精査、とりまとめ等	24,640	22,400	2,240	22,400	振込手数料	330円 × 71件 110円 × 1件 550円 × 2件 0円 × 3件 <b style="color: red; font-size: 1.2em;">記入例
合計	24,640	22,400	2,240	22,400		

3. 最後に

別紙様式第4号、別紙様式第4号の別添1、別紙様式第4号の別添2の各シートにおいて、記載内容に間違いがないかご確認いただくようお願いいたします。

また、各シートを印刷の上、決裁前に再度内容のご確認をお願いいたします。

V. 状況報告書（別紙様式第5号）

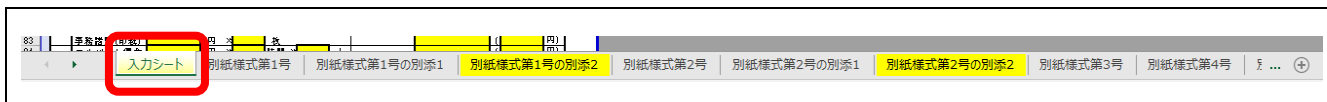
本様式は、令和6年度までの「国産飼料の利用拡大及び生産コストを低減させるための取組」の実施状況を、令和7年5月31日までにとりまとめ、報告するための様式です。

既に入力済みの内容はそのまま消さず、続きから入力いただくようお願いいたします。

1. 「入力シート」への入力作業

(1) 「入力シート」の選択

Excelの様式下部にある「入力シート」を選択。



(2) 別紙様式第5号：状況報告書

① 発信（決裁）番号

貴組合（団体）の文書発信時の番号を記入（番号がない場合空欄）

② 発信（決裁）日

年月日を記入

③ 中酪からの交付決定日付・番号

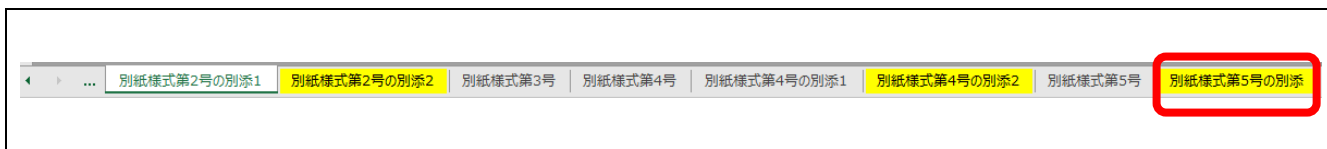
最新の中酪から交付決定を受けた際の日付・番号を記入

別紙様式第5号：状況報告書	
発信番号	〇〇発第〇〇号 ①
発信日	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 ②
中酪からの交付決定日付・番号	令和〇年〇月〇日付け中酪(総務)発第〇号 ③

2. 「別紙様式第5号の別添」シートへの入力

(1) 「別紙様式第5号の別添」の選択

Excelの様式下部にある「別紙様式第5号の別添」シートを選択。



(2) 実施状況報告書（取組の報告）

実績報告（別紙様式第4号）で報告した酪農経営体分の、国産飼料の利用拡大及び生産コストを低減させるための取組実施状況を記入。

（表中の14の取組から3つ以上、このうち、1つ以上は【●】から取り組み、記入欄に“○”を記入。）

※ 第I期対策の取組を継続している場合、⑩に“○”を記入（他の取組に“○”を記入しないようご注意ください）。

※ 必ず、実績報告（第4号）で報告した酪農経営体分の取組実施状況を全て記入願います。

国産飼料の利用拡大及び生産コストを低減させるための取組 (本事業に着手する取組について、以下の取組から3つ以上を選択。このうち、1つ以上は【●】に取り組みのとする。)													
① 飼料成分分析に基づく飼料設計の改善(飼料自給率の向上を考慮すること。)	② 国産飼料(エコフィードを含む)の給与割合の増加	③ 国産濃厚・粗飼料の生産・流通拡大(コントラクター活用等によるものを含む。)	④ 国産高栄養素粗飼料(青刈りとうもろこし、アルファルファ等)の利用による配合飼料の使用量の低減	⑤ 疾病・事故率などの低減	⑥ 暑熱・寒冷対策による生産性の改善	⑦ 副産物収入(堆肥販売、和牛受胎卵の活用等)の増加による生産コストの削減	⑧ 牛群検定を活用した生産性の向上	⑨ 分娩間隔の短縮	⑩ エサ寄せロボット等の活用	⑪ 自動給餌機の活用	⑫ 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。)	⑬ 分割給餌	⑭ リキッドフィーディングの活用
【●】	【●】	【●】	【●】										
え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え 輸入乾牧草の一部を国産粗飼料に置き換え	エ コ フ ィ ー ド (豆 腐 粕 、 糠 油 粕 等) の 割合を増やす 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア 国産とうもろこし(青刈り)・子実・イア	国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる	配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす 配合飼料の使用量を減らす	疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種 疾病の低減のため、ワクチンの接種	暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材 暑熱・寒冷対策のため、外壁・屋根材	和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入 和牛受胎卵の活用による収入	牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上 牛群検定を活用した生産性の向上	分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮 分娩間隔の短縮	エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用 エサ寄せロボットの活用	自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用 自動給餌機の活用	乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。) 乳搾りロボットの活用(ただし、飼料給餌機能付きのものに限る。)	リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用 リキッドフィーディングの活用	

様式第4号で報告した酪農経営体分の取組状況を全て記入

全ての実施項目について、酪農生産改善計画に基づく取組状況報告（酪農経営体→取組主体、要領別紙様式2）に基づき、転記してください。

報告に記載する取組の証拠書類は提出不要ですが、令和10年度末まで酪農経営体で保管する必要がありますので、ご注意ください。

(3) 不要行の削除

余った行は、5ページ(4)を参考に、行の削除をお願いいたします。(逆に行が足りない場合は、行の追加(参考:6ページ)をお願いいたします。)

3. 最後に

別紙様式第5号、別紙様式第5号の別添の各シートにおいて、記載内容に間違いがないかご確認いただくようお願いいたします。

また、各シートを印刷の上、決裁前に再度内容のご確認をお願いいたします。